

第 3 事業年度

事業計画書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東 1 条南 2 丁目 1 番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://homepage3.nifty.com/tokachikusirosakemas/>

E-mail: sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

平成27年度 基本方針	1～2
事業計画	
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業	3～5
(1) 親魚捕獲採卵事業	
(2) ふ化放流事業	
(3) 種苗放流手法改良調査事業	
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業	4～5
(1) ふ化施設整備計画	
(2) 北海道施設払い下げによる施設購入	
(3) 捕獲施設整備計画	
3. ふ化放流事業助成事業	5
4. さけます資源保護対策	5～6
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密猟防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
5. 太平洋サケ資源回復調査委託事業（釧路川資源調査事業）	6
6. 受入並びに負担事業	6～7
(1) さけ・ます増殖事業支援事業（基準事業費）	
(2) 秋さけ資源増大対策資金	
7. 施設整備5ヶ年計画（平成27年～31年）	7
収支予算書	8～10
平成27年度会費の額及び徴収方法	11
別表1 平成27年度サケ人工ふ化放流計画	12

平成27年度 基本方針

平成26年度の十勝、釧路管内の秋さけ定置漁業は、前年度に引き続き2年連続の50億円台へと回復し、その前の3年連続の35億円前後の不漁の状況から一步脱出したといえます。内容としては、漁獲尾数338万尾余り、漁獲重量で12.438トンと、前年比108%となりましたが、まだまだ最盛時の7、8割程度というところであります。一方、漁獲金額では消費税控除後で54億円余りとなり、最盛時に近づきましたが、単価において前年を上回るキロ470円となったことから、これが全体の漁獲金額を引き上げたひとつの要因と見られます。

こうした状況の中で、河川における捕獲については、十勝川で好調だった前年をさらに上回る36万尾、釧路川では不振を極めた前2年を大きく上回る8万8千尾となるなど、総体では必要な採卵数の確保が出来たところであります。

このように、管内全体としてはまずまずの成績をおさめたところでありますが、沿岸漁獲量、また河川捕獲数とも西部地区(十勝地区)と東部地区(釧路地区)との間で格差が生じている問題により、東部地区における沿岸漁獲と河川での捕獲尾数の向上が課題となっているところであります。

御承知のとおり、35億円前後の水揚げ続いたことから、一般管理費が不足する状況に陥り、会員各位の深い御理解・御協力のもと、平成24年度から26年度の3ヶ年にわたり漁獲高割会費を3%引き上げていただき運営して参りました。その結果、25、26年度と計画を上回る水揚げとなったことから、運営面での危機的状況をひとまず脱し、その上に施設整備に係る資金も確保することができました。これも、ひとえに会員の皆様が、不漁ゆえの苦しい漁業経営の中にあっても、会費の引き上げについて、サケの増殖事業が自らの漁業経営における生命線であるとの認識から、深い御理解を示して頂いたたまものと受け止めており、改めて深く感謝する次第であります。

こうした経過や、昨年、一昨年の定置の水揚げ状況を考慮し、本年度については、50億の水揚げをベースに以下の事項を基本方針として事業の推進を図って参りたいと考えております。

1. 会費の取り扱いの方針について

平成24年度から平成26年度の3ヶ年にわたった特別負担3%は廃止し、その一方で、管内における増殖施設の大半は築30年以上のものが多く、その機能の維持・回復をはかるためには、多くの施設の大、中規模修繕や小規模改修が必要になっている状況にあります。このことから、漁獲高割会費1%を0.5%引き上げし、施設整備資金を老朽化の進んでいる施設の維持補修・改良に充てて行きます。

2. 施設整備の推進

前項のとおり、老朽化が進み機能・能力が著しく低下を来している施設を中心に毎年度5ヶ年「中期の施設整備計画」を策定した上で、本年度計画する施設の維持・補修や改良等の工事を進めて行きます。その財源として、施設整備積立金及充てるほか、可能な限り、国及び道の補助金の獲得に努めるものとします。

3. 釧路川資源の回復に向けた取り組み

近年、河川捕獲の低迷や沿岸漁獲量の減少が見られる釧路川資源の回復に向け、その要因の究明、ふ化放流技術の向上のため、国・道の支援のもと、総合的な調査事業の推進に努めます。

4. ふ化放流技術に向けた取り組みの推進

前項の釧路川資源の回復に向けた取り組みと並行して、水産総合研究センター北海道区水産研究所さけます資源部や、道立水産総合研究機構さけます・内水面水産試験場等の指導のもと、ふ化放流技術の向上に向け、さらなる回帰率の向上に取り組んでいきます。

以上のほか、今後、特別負担がない中での運営となりますが、これまで以上に節約を基調とした業務運営に努めて参りますとともに、3年目に入る非営利型の一般社団法人として、関係諸法令を遵守し適正な法人運営を行って参ります。

また、当然のことではありますが、本会の役割は健苗なサケ稚魚を生産し放流することにあります。これを基本的認識として、本年度もふ化放流計画の達成に向け、努力して参りますので、会員各位の御理解・御協力をお願い申し上げますとともに、関係機関の御指導・御支援のほど宜しく願いする次第であります。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

当協会の基幹事業であり、会員皆様の貴重な会費によって運営しております。さらに、この事業の円滑な運営には基準事業費の受入は不可欠で、昨年度同額の 247,600 千円が本会に給付されます。この制度のあり方を十分理解し、効率的、合理的な運営に努めて参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

この事業は、全道的に各管内増協が北海道から業務委託を受けたなかで、特別採捕許可を受けて実施しております。本年も昨年と同様に、捕獲は3事業河川及び5補完河川、2非捕獲河川の計10河川で実施致します。

釧路川について採卵数が計画を充足できない事が予想されますので、昨年同様に補完河川、非捕獲河川、又は十勝川で種卵確保の対応を致します。

また、広尾川についても同様に補完河川、十勝川からの種卵確保により対応致します。

系群保全河川である十勝川で不測の事態が予測される場合は、十勝・釧路管内で漁業者が協議し、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会等を通じて網上げ等の措置を講じて頂き、河川遡上を促し親魚確保に全力を注ぎ種卵確保に努めます。

不要親魚等の売却についても、3事業河川と5補完河川と2非捕獲河川で行い、各漁協に捕獲業務を委託している補完河川については、経費に充当するよう全額を戻します。事業河川は総売却代金から諸費用を控除後、負担率の定めにより算出した金額を道増協に納付致します。

これらの親魚等については例年通り帯広地方卸市場、釧路市漁協市場、広尾漁協市場、また補完河川、非捕獲河川については最寄りの市場に上場致します。

親魚売却計画（事業河川）

（千円）

区分	売却額	消費税	販売諸費	差引残額	道増協負担金	摘要
釧路地区	5,000	400	320	4,280		
十勝地区	60,000	4,800	3,860	51,340		
広尾地区	5,000	400	320	4,280	5,990	
合計	70,000	5,600	4,500	59,900	5,990	

(2) ふ化放流事業（別表1参照）

北海道が策定したふ化放流計画に基づいて、健苗な稚魚を成育し適期に放流することを目標に、万全の体制で取り進め致します。

ふ化放流事業については、二次飼育を含め21ヶ所の飼育施設と、資源の均等化と陸上施設の不足を補完する目的で、漁港内及び海浜域9ヶ所の海中飼育施設において、関係機関のご指導のもと14名の技術職員と臨時職員、並びに各漁協・定置部会のご支援を得て適期放流と健苗な稚魚の育成に努めます

二次飼育の餌料については本会の対応としておりますが、事業費に対しても助成事業として取り進め致します。

[平成 27 年度 さけ捕獲採卵ふ化放流計画]

海区	地区	期別	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	収容卵数 (千粒)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数(千尾)	
エリモ以東	東部	前期	43,400	39,850	44,330	37,440	5,300	
		中期	47,800	43,920	47,460	40,240	8,200	
		後期	20,200	18,490	18,490	15,720	0	
		計	111,400	102,260	110,280	93,400	13,500	
	西部	前期	60,220	55,260	50,780	42,990	1,000	
		中期	71,220	65,410	61,870	52,840	4,000	
		後期	20,460	18,790	18,790	16,070	0	
		計	151,900	139,460	131,440	111,900	5,000	
	合計			263,300	241,720	241,720	205,300	18,500

(3) 種苗放流手法改良調査事業

高品質化推進事業に変わる新事業で、地域に適したより効果的な放流手法を検討するため、稚魚放流の時期や体サイズを変えるなど、様々な条件設定をした試験放流をします。

補助対象尾数(千尾)	単価(円/尾)	適地放流調査稚魚 売却収入(千円)	施標業務受託収入 (千円)
4,200	3.2	13,440	1,260

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

(1) ふ化施設整備計画

各ふ化場の施設・設備等の主な整備については以下の通り実施致します。(100万円以上)

(千円)

実施ふ化場名	整備内容	事業費	摘要
オソツベツふ化場	池掃除機	3,400	
更別ふ化場	池掃除機	3,400	
	事務所新設	9,200	
	導水装置交換	10,000	
	水利権取得による導水工事	38,150	
芦別ふ化場	冷水製造装置一式工事	45,360	
札内ふ化場	導水ポンプ交換	12,000	
合計		121,510	

(2) 北海道施設払い下げによる施設購入

施設名	購入金額	道増協負担	自己負担	摘要
芦別第二ふ化場	2,660	1,330	1,330	3月購入

(3) 捕獲施設整備計画

捕獲場の施設、設備等の補修の主な整備については以下の通り実施致します。(100万円以上)

(千円)

実施ふ化場名	整備内容	事業費	摘要
釧路捕獲場	油圧エンジン	3,700	
	活魚タンク	1,600	
合計		5,300	

3. ふ化放流事業助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して応分の助成を致します。

釧路地区

(千円)

幌戸	太田	チョロベツ	庶路	茶路	音別	小計
8,600	3,250	6,200	1,170	9,040	2,830	31,090

十勝地区

更生	小紋別第1	小紋別第2	大樹	小計	合計
5,560	1,460	1,790	1,020	9,830	40,920

4. さけ・ます資源保護対策事業

(1) 試験調査事業

(独) 水産総合研究センター北海道区水産研究所さけます資源部(以下「北水研」)が行う、エリモ以東海区の幼稚魚河川分布調査、モニタリング調査、北海道が秋さけ来遊資源予測の向上と適切な資源利用を目的として実施する耳石調査等、回帰資源の高位安定と効率事業推進のための各種試験及び調査の実施に積極的に協力致します。

(2) 教育研修活動

北水研、北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場(以下「内水試」)、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。

作業の効率を図るため、必要な作業免許の取得を行います。(大特、整地、小型移動式クレーン)

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査、及び汚濁防止のための監視活動、水質保全のための水質調査、開発建設部並びに北海道建設管理部が行う河川工事について、引続き関係機関との協力体制のもとに実施致します。

5. 太平洋サケ資源回復調査委託事業（釧路川資源調査事業）

太平洋サケ資源回復調査委託事業

水産庁主体で北水研、内水試、道増協、釧定協と連携し、稚魚モニタリング調査、降河の動態調査、海洋調査、胃内容物分析調査など行います。

上記のうち、釧路川での資源調査の区切りとして報告会を開催します。

(千円)

事業名	委託主体	委託金額
太平洋サケ資源回復調査委託事業	水産庁	11,969

6. 受入並びに負担事業

(1) さけ・ます増殖事業支援事業（基準事業費）

道増協が実施する増殖事業支援事業制度について事業費負担をし、さけ・ます稚魚飼育放流事業及び親魚捕獲採卵事業に対して助成金（基準事業費）を受け入れます。

なお、基準事業費については全道の各管内増協が漁獲金額に応じて負担する12億円を原資として、各管内増協が実施している稚魚放流数並びに採卵数を基礎として算出されます。

(千円)

増殖支援事業費助成金	漁獲高割負担金	差引額
247,600	100,000	147,600

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本協会が実施する増殖施設整備事業に充当する目的の、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの寄付金について、適正に管理運用致します。

7. 施設整備5ヶ年計画

(千円)

年度	内 訳				費用
	新 設	大規模修繕	中規模修繕	ローカルその他	
27	更別第二飼育場 9,200 芦別ふ化場 45,360	更別第二飼育場 38,150	更別第二飼育場 10,000 札内ふ化場 12,000	小紋別第一 2,300 更生ふ化場 1,590 その他 19,900	138,500
28	茶路ふ化場 156,000	札内ふ化場 126,400	標茶ふ化場 25,600 広尾ふ化場 7,500	その他 7000	322,500
29		幕別ふ化場 52,400	芦別ふ化場 3,000 更別第一ふ化場 1,200	太田飼育場 10,000	66,600
30		芦別ふ化場 10,000 芦別第二 20,400	標茶ふ化場 17,400 更別第一 4,400		52,200
31		オソツベツふ化場 17,200 美留和ふ化場 12,000		幌戸、藻散布 音別 25,000	54,200
費用合計	210,560	276,550	81,100	65,790	634,000

収 支 予 算 書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単価:千円)

科 目	平成27年予算額	平成26年予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	10	10	0
特定資産受取利息	10	10	0
受取会費	428,900	388,400	40,500
正会員受取会費	400	400	0
漁獲高割受取会費	353,500	353,000	500
特別受取会費	75,000	35,000	40,000
事業収益	83,229	29,080	54,149
親魚捕獲採卵事業収益	70,000	15,000	55,000
業務受託収益	13,229	14,080	△ 851
施標業務受託収入	(1,260)	(1,760)	(△500)
道委託金	(0)	(600)	(△600)
水産庁委託金	(11,969)	(11,720)	(249)
受取補助金等	282,139	298,512	△ 28,949
受取地方公共団体補助金	0	900	△ 900
受取地方公共団体補助金振替額	17,898	20,795	△ 2,897
受取道増協賛助金	264,241	276,817	△ 12,576
高品質化推進事業収益	(13,440)	(11,520)	(1,920)
道増協基準事業費収入	(247,600)	(247,600)	(0)
道増協助成金収入	(0)	(16,200)	(△16,200)
道増協利息助成金収入	(0)	(300)	(△300)
移管施設取得助成金収入	(1,330)	(0)	(1,330)
道増協助成金振替額	(1,871)	(1,197)	(674)
雑収益	1,660	960	700
受取利息	10	10	0
職員住宅料収入	850	850	0
雑収益	800	100	700
経常収益 計	795,938	716,962	66,400

科 目	平成27年予算額	平成26年予算額	増 減
(2)経常費用			
①事業費	659,652	634,609	25,043
役員報酬	3,600	3,600	0
給料手当	66,000	64,700	1,300
臨時雇賃金	97,000	97,000	0
役員退任慰労金	450	450	0
退職給付費用	6,731	6,293	438
法定福利費	20,000	20,000	0
福利厚生費	5,500	5,300	200
会議費	450	420	30
旅費交通費	4,300	4,800	△ 500
通信運搬費	2,500	3,000	△ 500
減価償却費	116,481	127,109	△ 10,628
備品費	3,500	4,000	△ 500
消耗費	28,000	26,900	1,100
餌料費	36,000	41,200	△ 5,200
施設費	12,000	2,160	9,840
施設調査費	5,000	3,000	2,000
補修修繕費	30,000	28,400	1,600
燃料費	18,500	18,500	0
光熱水料費	6,400	6,400	0
動力費	75,000	60,300	14,700
賃借料	20,000	17,500	2,500
車輛費	33,500	33,500	0
親魚販売諸費	4,500	1,400	3,100
公租公課	6,600	6,300	300
支払負担金	50,640	45,777	4,863
雑費	7,000	6,600	400

科 目	平成27年予算額	平成26年予算額	増 減
②管理費	152,335	148,141	4,194
役員報酬	2,400	2,400	0
給料手当	9,000	11,300	△ 2,300
臨時雇賃金	500	0	500
役員退任慰労金	300	300	0
退職給付費用	781	1,007	△ 226
法定福利費	2,700	3,500	△ 800
福利厚生費	600	550	50
会議費	750	700	50
旅費交通費	4,000	3,500	500
通信運搬費	800	900	△ 100
減価償却費	1,424	1,424	0
備品費	200	200	0
消耗品費	700	700	0
図書購入費	100	100	0
修繕費	1,000	1,000	0
印刷製本費	180	180	0
燃料費	800	800	0
光熱水料費	500	500	0
車輛費	800	1,000	△ 200
賃借料	3,500	4,350	△ 850
広告宣伝費	130	130	0
保険料	2,000	2,000	0
租税公課	7,200	3,200	4,000
支払負担金	108,970	104,700	4,270
道増協漁獲高割負担金支出	(100,000)	(100,000)	(0)
道増協施設整備改良積立金支出	(2,500)	(2,500)	(0)
増殖施設有償貸付負担金支出	(450)	(450)	(0)
親魚売却負担金支出	(5,990)	(1,720)	(4,270)
負担金支出	(30)	(30)	(0)
支払利息	500	1,250	△ 750
支払利息支出(短期運営資金)	(500)	(1,000)	(△500)
支払利息支出(長期運営資金)	(0)	(250)	(△250)
交際費	500	450	50
雑費	2,000	2,000	0
経常費用 計	811,987	782,750	29,237
当期経常増減額	△ 16,049	△ 65,788	49,739
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,049	△ 65,788	49,739
一般正味財産期首残高	1,438,831	1,266,951	171,880
一般正味財産期末残高	1,422,782	1,201,163	221,619
II 指定正味財産増減の部			
①受取補助金等	0	0	0
②一般正味財産への振替額	△ 19,769	△ 21,992	2,223
地方公共団体補助金振替額	△ 17,898	△ 20,795	2,897
道増協助成金振替額	△ 1,871	△ 1,197	△ 674
当期指定正味財産増減額	△ 19,769	△ 21,992	2,223
指定正味財産期首残高	304,286	309,543	△ 5,257
指定正味財産期末残高	284,517	287,551	△ 3,034
III 正味財産期末残高	1,707,299	1,488,714	218,585

平成27年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10漁業協同組合及び10市町村の会員に対して2万円の負担をお願い致します。

(2) 春さけ定置漁業会費

漁獲金額（消費税控除後）の2.0%とする。

会費は8月31日までに納入願います。

(3) 秋さけ定置漁業会員会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の6.9%とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.5%を施設整備のための積立とする。

(4) 特別採補事業負担金

漁獲金額（消費税控除後）の3.0%とする

(5) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会するものは2万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、毎月10日までに納入願います。

平成27年度サケ人工ふ化放流計画:全体(案)

(一社)十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

海区	地区	支庁	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考	
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)				
えりも 以東	東部	根室										芦別	500	◎昆布盛	500		
												芦別	500	◎三里浜	500		
													芦別	500	◎沖根婦漁港	500	
			(幌戸)										芦別	1,900			
													オソツベツ	1,800	幌戸	3,700	
													オソツベツ	1,300			
													標茶	1,670	◎霧多布港湾沖	2,970	
													オソツベツ	800	新川	800	
				(藻散布)									美留和	0	藻散布	3,000	
													標茶	2,000			
												オソツベツ	1,000				
												美留和	490	◎藻散布港湾	990		
												オソツベツ	500		990		
												美留和	2,820	別寒辺牛	3,800		
			(別寒辺牛)									標茶	980				
												オソツベツ	2,000	◎厚岸漁港	4,950		
												美留和	2,950				
												標茶	0				
												標茶	990	◎老者舞漁港	990		
												オソツベツ	2,000	チヨロベツ	2,000		
											標茶	990	◎昆布森漁港	990			
		釧路	111,400	102,260				11,000	美留和 標茶 オソツベツ ※鶴居 芦別	33,810 14,480 20,000 11,000 21,400	28,710 12,300 17,000 9,100 18,100	美留和	120	◎釧路港東港区	120		
												美留和	4,600	庶路	4,600		
												茶路	990	◎白糠漁港	990		
									茶路	9,590	8,190			茶路	7,200		
	地区計			111,400	102,260	0	8,020	11,000							93,400		
	西部	釧路										音別	10,600	9,000		9,000	
													幕別	1,500	厚内	1,500	
													札内	3,000	◎厚内漁港	3,000	
			幕別 千代田	141,300	129,770		8,020		17,700	更別第1 ※十勝 幕別 札内	12,900 17,700 28,000 28,500	10,990 15,300 23,810 24,200			十勝	60,500	
			(歴舟)										更別第1	1,700	当縁	1,700	
													幕別	1,800	歴舟	8,100	
			(小紋別)										更別第1	1,370			
													更生	5,900			
													小紋別	2,900	小紋別	6,900	
													幕別	2,000			
												更別第1	2,430				
												広尾	3,000	豊似	3,000		
												薬古	400	薬古	3,400	(4,600千尾保留)	
		(薬古)										広尾	21,400	広尾	11,800		
		広尾	10,600	9,690								広尾	1,000	◎十勝港	1,000		
												広尾	1,000	音調津	1,000		
												広尾	1,000	◎音調津漁港	1,000		
	地区計			151,900	139,460	8,020	0	17,700							20,200	111,900	
	海区計			263,300	241,720	8,020	8,020	28,700							51,600	205,300	

※は(独)北水研さけます資源部

稚魚生産率85%、捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,400粒

係数1.089 * 収容卵数 = 捕獲尾数

(薬古についての4,600千尾減については、施設整備後集約完了まで保留)

平成27年度カラフトマス人工ふ化放流計画

海区	地区	支庁	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
えりも 以東	東部	根室							落石	1,900	1,500			◎落石地先	0	
		釧路 (幌戸)	4,300	1,900					芦別	0	0			釧路 幌戸	1,500	
	地区計			4,300	1,900										1,500	
	海区計															

平成27年度ベニザケ人工ふ化放流計画 (稚魚生産)

海区	地区	支庁	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		センターへの 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	幼魚生産場	幼魚生産 移行数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)					
えりも 以東	東部	釧路	釧路	60	60			0	鶴居	60	0	静内	50	釧路	50	静内	50	
		地区計			60	60			0		60	0		50	1水系	50		50
	海区計			60	60			0		60	0		50		50		50	